

東京2020大会に向けた各部局の取組提案事業総括表(一次選定)

1. 総括表

	部	提案事業数	事業想定額	一次選定事業数	事業数(内訳)	備考
1	政策経営部	5	3,000,000	1	【広報課】1	
2	総務部	1	10,000,000	1	【防災危機管理課】1	
3	区民部	5	750,000	3	【地域区民ひろば課】3	
4	文化商工部	15	82,000,000	12	【文化デザイン課】3 【文化観光課】5 【学習・スポーツ課】4	事業費【未定】を 除く
5	保健福祉部	10	10,420,000	8	【福祉総務課】1 【高齢者福祉課】1 【障害福祉課】5 【地域保健課】1	
6	子ども家庭部	6	4,399,000	4	【子ども若者課】3 【保育課】1	
7	都市整備部	14	30,000,000	9	【都市計画課】1 【土木管理課】1 【公園緑地課】7	
9	教育部	5	0	0		
	合計	61	140,569,000	38		

2. 選定基準

- ・東京2020大会への貢献・関係
- ・多くの人に対するアピール・効果
- ・準備期間・予算規模・職員体制等の実現可能性

3. 提案内容の熟度基準

A	事業化に向けて検討
B	工夫・改善、多事業との連携の余地
C	提案の具体化・詳細検討が必要

政策経営部

事業 番号	課	提案事業名	アイデアの内容	セールスポイント・期待される効果	想定予算額	一次選定 事業の熟度	備考
1	広報課	オリ・パラ特別番組の制作 (としまテレビに委託) 30分番組/ 6回シリーズ	下記のコンテンツを6回シリーズとして、テレビ広報や YouTubeなどで放映 ①聖火ランナーの思いや当日までの準備の様子 ②聖火リレーを迎える商店街や町会の皆さんの期待感 ③ライブサイトに関わるボランティアの活動や他の会場では見られない工夫の紹介など ④次世代を担う子どもたちの声や学校での取り組み紹介 ⑤オリンピックや若者たちが座談会形式でオリ・パラへの期待を語る	・オリ・パラの機運醸成 ・アーカイブ用映像	3,000,000	B	具体的なスケジュール案の検討。(完成したものから進捗していく等)

部内合計額 ¥ 3,000,000-

総務部

事業番号	課	提案事業名	アイデアの内容	セールスポイント・期待される効果	想定予算額	一次選定事業の熟度	備考
2	防災危機管理課	東京2020ライブサイト安全・安心ボランティア	池袋西口公園でのライブサイトの開催にあたり、区職員、警備員及び区民ボランティアとの協働チームを編成し、会場周辺の安全確保と混雑緩和のための案内、誘導を行う。	観客やボランティアを含むスタッフ全員が一体となって「オール豊島」でのライブサイトの安全確保と盛り上げに取り組む。	10,000,000 (内訳: 防災機器設置費用、ボランティア参加者への食券、スタッフユニフォーム等)	B	予算の積算根拠、警備計画の詳細を分かり易くまとめる。

部内合計額 ¥10,000,000-

区民部

事業番号	課	提案事業名	アイデアの内容	セールスポイント・期待される効果	想定予算額	一次選定事業の熟度	備考
3	地域区民ひろば課	ひろばでつなぐ未来～東京大会2020～	7月25日に、としま区民センターの多目的ホール(予約済)にて、オリンピック・パラリンピックをテーマとした、全区民ひろばが参加する交流事業を実施する。同時に高齢者福祉課と共催でフレイルチェックのブースも設ける。(例)区民ひろば対抗ポッチャ大会、区民ひろば対抗ミニオリンピックの開催など	大会開催期間中に地域と世代を越えた交流を行なうことで、区民ひろばから大会を盛り上げる。また大会参加者の募集や呼びかけを通じて、区民ひろばを利用したことのない方が参加できるきっかけを作り、区民ひろばの新規利用者獲得が期待できる。高齢者福祉課との連携を強化する。	500,000	B	事業の具体化を進める
4	地域区民ひろば課	オリンピック・パラリンピック関連事業 区民ひろばプログラムの作成	開催期間中に、区民ひろばで実施するオリンピック・パラリンピック関連事業を、横断的に把握できるプログラムを作成する。 作成後は、区民ひろばに限らず多くの施設で配布し、区民ひろばの取り組みを周知する。 【参考】東アジア文化都市開催時にも、同じく「区民ひろば年間プログラム」を作成したことで、約1万人が区民ひろばで開催された東アジア文化都市事業に参加した。	一冊で全ての事業を把握できるプログラムを作成することで、区民ひろばで開催される事業への参加意欲を高め、区民ひろばに来館するきっかけを作る。	150,000	C	他課との連携を図る
5	地域区民ひろば課	NPO法人はばたけ千早語り部部会 紙芝居「オリンピック」	オリンピック・パラリンピックの発祥から現在までをテーマに、手作りで紙芝居を制作する。制作後は、区民ひろばだけでなく、小中学校や区内公共施設を回遊し、紙芝居を披露する。 【参考】東アジア文化都市開催時、パートナーシップ事業として採択され、区民ひろばだけでなく、区内小学校にて紙芝居を披露した。	老若男女問わず楽しむことができる紙芝居をツールに、様々な場所で披露することで地域の気運醸成を図るきっかけとする。また、紙芝居を通じて、オリンピック・パラリンピックの歴史と意義を学ぶことができる。	100,000	B	組織委員会へ要申請

部内合計額 ￥750,000-

文化商工部

事業番号	課	提案事業名	アイデアの内容	セールスポイント・期待される効果	想定予算額	一次選定事業の熟度	備考
6	文化デザイン課	①Hareza池袋でのパブリックビューイング ②Hareza池袋でのイベント実施 ※「企画概要」は別紙の通り	【大会期間中】 ①Hareza池袋のパークプラザ、中池袋公園を使用し、大会の臨場感や会場との一体感を身近に感じてもらう場所とする。 ②豊島区のホスト対象国でもあるセントルシアをはじめ、カリブ諸国の飲食、音楽、ダンス、その他を提供する。	①パブリックビューイングを通じて、区民の皆様にスポーツの素晴らしさを伝えるとともに、Hareza池袋のにぎわい創出、認知度向上にもつながる。 ②世界の食を提供することにより、外国人観光客に対して国際アート・カルチャー都市としまの魅力をアピールできる。	25,000,000	B	事業内容・事業費、スケジュールの精査。
7	文化デザイン課	オリンピック・パラリンピックスポーツの体験 ① ※「企画概要」は別紙の通り	【大会期間前】 Hareza池袋の中池袋公園で過去オリンピック・パラリンピックに出場した選手を招待し、体験イベントやトークショー等を行う。	身近にスポーツに触れる機会を増やし、区民の皆様に素晴らしさを伝えることができる。さらにHareza池袋のにぎわい創出、認知度向上にもつながる。	20,000,000	B	事業内容・事業費、スケジュールの精査。
8	文化デザイン課	オリンピック・パラリンピックスポーツの体験 ② ※「企画概要」は別紙の通り	【大会期間前】 Hareza池袋のパークプラザ、中池袋公園で過去オリンピック・パラリンピックに出場した選手を招待し、体験イベントやトークショー等を行う。また、同会場で世界の料理を提供する。	身近にスポーツに触れる機会を増やし、区民の皆様に素晴らしさを伝えることができる。さらにHareza池袋のにぎわい創出、認知度向上にもつながる。	20,000,000	B	事業内容・事業費、スケジュールの精査。
9	文化観光課	東武東上線沿線サミット加盟自治体による応援ブースの設置	東武東上線沿線サミット加盟自治体の中で、海外のホストタウンやキャンプ地となっている自治体がある。そのような自治体を招き、応援ブースを設ける。	豊島区も加盟している東武東上線沿線サミットの自治体とともに一緒に応援することにより、共に盛り上がるのが期待される。	未定 (東武東上線沿線サミット分担金の活用を想定。サミットメンバーとの協議により決定)	C	事業費の積算、事業内容要検討
10	文化観光課	ライブサイトで国際交流！ ～手作り国旗でホストタウンを応援しよう～	ライブサイト放映前に、セントルシア・バングラデシュの方々に教わりながら手書きの国旗を作成。さらに、それぞれの国の応援フレーズも習い、ライブサイトを見ながら応援を行う。	ホストタウン各国の紹介も含め、母国語での応援フレーズを習うことで、手軽に国際交流が可能。 メインターゲットは子どもだが、子どもが参加することで親や祖父母等の参加も期待でき、世代間交流もはかれる。	未定 ・出演者への謝礼 ・国旗作成道具の費用(紙、ペン等)	C	事業費の積算、事業内容要検討
11	文化観光課	都電オリパラ号に乗ろう！	都交通局と都電沿線4区(豊島区、新宿区、北区、荒川区)が協力し、都電荒川線の車両を、オリンピック・パラリンピックにちなんだステッカーやホストタウンの国旗で装飾し、運行する。 ※都電沿線協議会の合意要	都電荒川線の乗客や沿線住民を対象に、オリンピック・パラリンピック機運の醸成を図ることができる。また、オリンピック・パラリンピックと沿線4区の間わりを身近に感じてもらうきっかけになる。	未定 ・装飾用ステッカー制作、購入費用	C	都実施事業

文化商工部

事業番号	課	提案事業名	アイデアの内容	セールスポイント・期待される効果	想定予算額	一次選定事業の熟度	備考
12	文化観光課	インバウンド対象のIKEBUSツアー(和服、お茶体験、アニメマンガコスプレ等 池袋でしかできないことツアー)	区内文化団体・国際交流団体(豊茶華連盟、Fam)または商店(池袋でしかできない55のこと掲載店)と協働し、外国人を主なターゲットとしたIKEBUSを使ったツアーを企画実施する。 また、「池袋アニメタウン」の企業や南長崎地域(トキワ荘関連)等と協働し、マンガ・アニメ・コスプレ関連ツアー、イベントを同時開催する。	「モノ」消費から「コト」消費へと観光需要が変化しつつあるため、「体験型ツアー」を主眼に置いた豊島区ならではのツアーを組むことで、何度でも訪れたい街を目指す。また伝統文化の継承、発展、アニメ文化の発展、IKEBUSの有効活用にもつながる。 世界から注目される日本のポップカルチャーコンテンツを入口にし参加者数増につなげることができる。	未定 ・ツアー企画、実施委託料	C	事業費の積算、事業内容要検討
13	文化観光課	グローバルリングでのナイトコンサート(国別テーマ)	オリンピック参加の各国の応援歌・五輪をテーマにした歌などを、「TOKYO MUSIC EVENING "Yūbe"」でおなじみのアーティストが演奏・歌声を披露する。	ライブビューイング会場ともなる池袋西口公園にて、昼は映像観戦、夜は豊島区の強みである文化で選手を応援することで、地域一体となって五輪を盛り上げる機運が高まる効果が期待される。	未定	B	都と要調整
14	学習・スポーツ課	体育協会によるスポーツ体験イベント	体育協会加盟の各競技団体によるスポーツ体験イベントの実施	スポーツ推進委員が実施しているスポーツまつりなどにおいて、スポーツ体験イベントを開催し、東京2020大会を契機にしたレガシーづくりに取り組む。	15,000,000	B	事業費、実施団体の精査
15	学習・スポーツ課 (広報課)	オリパラ特設サイト作成	広報課と協働し、オリンピック・パラリンピックに向けた特設サイトを開設。東京2020大会での豊島区の取り組みを区民に伝えていく。	豊島区の東京2020大会での取組をトップページに組み込むことで、誰もが情報を取得しやすい体制をつくるとともに外国人に向けての観光情報を集約し多言語化を図ることで、より多くの人に豊島区に訪れてもらう。	2,000,000	B	広報課で要検討
16	図書館課 (学習・スポーツ課調整中)	図書館展示	大会期間中にオリンピック・パラリンピック競技紹介等の図書を区民に伝えていく。	オリンピック・パラリンピック関連の図書を集め、図書館に来た方への気運醸成を図る。	0	A	
17	文化デザイン課 (学習・スポーツ課調整中)	庁舎まるごとミュージアム	庁舎まるごとミュージアムにて、オリパラアート等関連ポスターを展示する。	庁舎まるごとミュージアムでの展示により、区役所に訪れた方への気運醸成を図る。	0	A	

部内合計額 ￥82,000,000- +未定額(9)～(13)

保健福祉部

事業番号	課	提案事業名	アイデアの内容	セールスポイント・期待される効果	想定予算額	一次選定事業の熟度	備考
18	福祉総務課	池袋駅周辺地区バリアフリーマップの作成	区民及び多様な来街者が、開催期間中ライブサイトが開設される池袋西口公園を始め、池袋駅周辺を安心・安全に楽しめるよう、区民や池袋駅周辺事業所、区職員参加による日本語・英語・中国語のバリアフリーマップを作成する。	多様な来街者が安心して池袋駅周辺を楽しめるとともに、区民等が調査に参加することによる機運醸成が図られる。また、区民等がバリアを意識できることから、心のバリアフリーが推進され、より寄り添ったおもてなしができる。	3,500,000	A	
19	高齢者福祉課	豊島区高齢者クラブ連合会 運動会	75の高齢者クラブが集結する高齢者クラブ連合会主催の運動会を実施し、高齢者にもオリパラの意識醸成をしていく。また、シルバー人材センターの参加もお願いしていく。 ※実施する場合は、季節柄空調の効く室内を想定しており、豊島体育館が予約できることが前提となる。	オリパラ種目にちなんだ競技などを含めて実施することにより、高齢者の介護予防・フレイル予防に資するとともに、機運の醸成を図る。また、減少している高齢者クラブのPRを図っていく。	2,000,000	B	地域区民ひろば課との連携
20	障害福祉課	はあとの木マルシェ+(プラス)×東京2020クラブ 【はあとの木実行委員会】	7/30開催予定のはあとの木マルシェ+(プラス)において、ワークショップ・縁日部分を、パラスポーツ2～3種類程度を体験できるブースや、パラスポーツに関するパネル展示等を行う。パラスポーツに関する理解を深め、楽しさを体験できる機会にする。 (販売スペースも確保したいため縮小版で行うなどできる範囲で行う。) 【パラスポーツ(案)】 ●卓球バレー ●ボッチャ●シッティングバレー ●ブラインドサッカー(簡易ゴールでのシュート体験) 【パネル展示(案)】 ●車いすを使った競技(陸上競技・テニス・ラグビー)の車いす体験コーナー ●聖火リレーやオリパラ選手のパネル展示	はあとの木(区内福祉施設11事業所のネットワーク)は社会参加と工賃向上を目的に、自主製品の販売活動を行っている。マルシェ+(プラス)は、はあとの木参加事業所がすべてつどい企画から主体的に行う大規模販売会である。障害のある人・ない人関わらず、400～500名近くの方が来場する。障害に対し関心を持ってくださっている方が多く、「パラスポーツって聞いたことあるけど詳しく知らない」という方にとって、パラスポーツを知ってもらったり、楽しんでもらえる機会になる。結果として、機運醸成に繋がる。	150,000	A	
21	障害福祉課	2020 パラアート・フェス・TOKYO シンポジウム企画(案) タイトル(案)「日本の障がい者アートの起源そして、未来へ」(仮題) 【日本チャリティ協会】	パラリンピックの開催にむけて、日本におけるこれまでの「障がい者による文化芸術の育成ならびに発展」を振り返るとともに、障がい者の芸術文化の将来について有識者と共に考える	パネリストとして、障がい者アートに関する識者や障がい者の芸術活動を牽引してきた専門家を招き、障がい者アートの現状と社会へ期待する将来の展望を明確にしていく。また、障がい者スポーツと両輪の関係にある障がい者の文化芸術活動についての意義を有識者と共に考えることにより、社会における障がい者への理解が一層深まり、障がい者の共生ならびに社会参加を推進する機会になることが期待される。	3,000,000	B	会場、スケジュール詳細要検討
22	障害福祉課	障害者サポート講座の拡大実施 【障害福祉課】	例年実施している障害者サポート講座において、障害者スポーツ関係者と講師として迎える、あるいは障害者スポーツに関する映画等の上映会を実施する。また、オリンピック・パラリンピックにちなんだグッズの配布等により機運醸成をはかる。	オリンピック・パラリンピックへの関心は高まっており、この機会に多くの方に障害者スポーツについて知っていただくことができると共に、開催都市として障害者へのサポート方法についても学ぶことができる。	200,000	A	

保健福祉部

事業番号	課	提案事業名	アイデアの内容	セールスポイント・期待される効果	想定予算額	一次選定事業の熟度	備考
23	障害福祉課	みんな一緒フェス【NPO法人SUPLIFE】	心のバリアフリー（共生社会）の啓発を目的に、福祉に関心の薄い方から障がいのある方まで気軽に来場いただける開けたイベントを行う	障がいのある方もない方も気軽に参加いただけるプログラム設計をし、かつ「行ってみたい」と思える構成にすることで、福祉に関心のない方にも共生社会に触れるきっかけの場となる。ゲームコーナーでは「ゆるスポーツ」を一部取り入れる予定。	200,000	C	事業内容精査
24	障害福祉課	・西口グローバルリングでオリパラフェス ・ウェルカムパラ聖火！【障害福祉課】	1、4などの障害者団体や関係団体の持ち寄り企画を、野外ステージでのパフォーマンスや広場でのマルシェ、ワークショップ等を実施し、オリパラ気運醸成を図る。 パラ聖火が障害施設にやって来るウェルカム事業で盛り上がる。	障害者団体の活動紹介やゆるのparaスポーツ体験などを通じての相互理解やオリンピックイヤーを共感できる機会とする。 パラ聖火を記念して、応援旗（アート）を作成するなど喜びを表現し、オリパラ気分を盛り上げる。	700,000	B	都と要調整
25	地域保健課	としま健康チャレンジ！講演会「オリンピックメダリスト直伝！40歳からの体カアップ術～からだを動かして健康に～」	オリンピックメダリストをお招きし、健康づくりに関する講演会を開催する。（定員約200名）※講師選定中	H30国保特定健診での質問票では、「1回30分以上の汗をかく運動を週2回以上、1年以上継続」は40.3%であり、運動習慣がある方は少ない。40歳以上の方を対象に、講義形式で体カアップのためのポイントを伝授し、運動習慣のある人を増やすとともに、オリパラの見どころを紹介し、東京2020大会気運醸成を図る。	670,000	B	事業費の精査

部内合計額 ￥10,420,000-

子ども家庭部

事業番号	課	提案事業名	アイデアの内容	セールスポイント・期待される効果	想定予算額	一次選定事業の熟度	備考
26	子ども若者課	豊島区の子どもたちからの応援ビデオメッセージ制作	子ども関係施設(保育園、幼稚園、子ども家庭支援センター、中高生センター等)の利用者による応援ビデオメッセージを製作し、期間中、西口パブリックビューイングやとしまテレビなどで放映してもらう。(例:1グループ8秒×30グループ 計4分程度)	・子どもたちにオリンピックパラリンピックの理解を促し、機運を醸成させることができる ・PVやCATVで放映することで区民全体で大会を盛り上げる宣伝効果が期待できる	1,300,000	B	放映場所、ビデオメッセージ活用法要検討
27	子ども若者課	地区青少年育成委員会行事での展開(追加分)	上記は例年の予算内での事業を想定しているが、気運醸成ために実施する新たな活動を追加支援する。	すべての地区が積極的な取り組みを実施することは想定しにくい。12区中6地区が新規事業を実施することを想定している。	600,000	C	事業内容要精査
28	子ども若者課	マンガを活用したスポーツ気運醸成事業	オリンピック・パラリンピックやスポーツ関連のマンガ等を中高生センタージャンプの利用者に選定してもらい、利用者自らが選んだものを配架・閲覧する。	両ジャンプでは、「トキワ荘プロジェクト」としてマンガ文化の啓発に取り組んでいる。利用者にマンガ等を選定してもらうことで、事業への参加意識と、オリンピック・パラリンピックへの関心を高めることができる。(各館10万円合計20万円)	200,000	C	事業費要精査、文化商工部との連携
29	保育課	未来のメダリスト応援事業	区立保育園において幼児向けの体操指導者を招き、楽しく無理なく、体力をつけたり、スポーツに親しむことができる「運動あそび」等を行う。	子どもたちに体を動かすことやスポーツの面白さ楽しさを伝えるとともに、オリンピック・パラリンピックへの関心を高めることができる。	2,299,000	C	事業内容の具体化・継続性要検討

部内合計額 4,399,000-

都市整備部

事業番号	課	提案事業名	アイデアの内容	セールスポイント・期待される効果	想定予算額	一次選定事業の熟度	備考
30	都市計画課	世界卓球選手権大会釜山大会(6月21日～28日)パブリックビューイング開催	本大会を放映するテレビ東京と協働し、男女ともにメダル獲得が期待される日本人選手を中心としたパブリックビューイング開催を行うことで、直前に迫ったオリパラ機運のさらなる醸成とともに、聖火リレースタート地である池袋、グローバルリングのPRを図る。	①他会場でも開催予定の2020PVIに先んじて世界卓球PVを行うことにより、いち早く池袋とグローバルリングのポテンシャルと魅力を広くPRできる。 ②今後の池袋駅西口のポテンシャル上昇を念頭とした、自走できるエリアマネジメントへ繋げることを目指す。 ③東京2020大会におけるパブリックビューイング開催に向けて、本件をテストケースとして、音量や輝度の確認、公園に來場される方々の動線確保や、必要な警備体制を確立させ、大会本番に支障の無いようにできる。	1,000,000	B	ライブサイトの警備にも役立つため、防災危機管理課と連携して実施
31	土木管理課	IKEBUS車内で大会PR	車内放送・車内サイネージ(乗合2台・貸切1台)によりグローバルリングのパブリックビューイングなど大会をPR。	大会情報とともに、オリ・パラを契機とした池袋の文化イベントをIKEBUSUで発信することで、池袋の魅力をアピールできる。	2,000,000	B	アンブッシュ対策 文化観光課と連携(事業番号11)
32	公園緑地課	IKE・SUNPARKにおける日本と世界の食文化の体験・交流事業【日本酒・クラフトビール・ナチュラルワイン】	聖火リレーの実施に合わせて、世界でも潮流になっている食文化である日本酒・クラフトビール・ナチュラルワインをテーマに、それぞれの生産者と直に交流し体験する機会を提供する。	【効果】 ・池袋駅周辺で7月19日(日)に予定されている聖火リレーに合わせ、コースに隣接するIKE・SUNPARKにて本イベントを実施することで、聖火リレーの成功と賑わい創出に寄与するとともに、国内外の様々な来訪者に日本の食文化の発信を行う。 ・IKE・SUNPARKで実施予定のファーマーズマーケットと連動して盛大に本イベントを実施することで、オープン後間もない公園の認知度向上に寄与する。 ・区内及び姉妹都市等の生産者にPRの機会を提供する。 ※本イベントの実施には出店者の調整等の準備に日数を要するため、オリンピック開催の決定が遅れた場合は日程を8月、9月等に調整して実施する。 【実績】 ・日本酒、クラフトビール、ナチュラルワインそれぞれのイベントで日本全国から30程度の生産者が出店。各イベント来場数5000人/日程度の実績。 ※本イベントではこれまで別々に開催していたイベントをひとくくりにして開催を予定。	6,000,000	C	事業内容・事業費・オリパラとの関連性を要検討

都市整備部

事業番号	課	提案事業名	アイデアの内容	セールスポイント・期待される効果	想定予算額	一次選定事業の熟度	備考
33	公園緑地課	IKE・SUNPARKにおけるパブリックアートのキュレーション・展示事業	・公園をパブリックギャラリーに見立て、若手アーティストの発掘やアート作品の制作・展示を行う。 ・アーティストの協力によるワークショップ等のイベントを行う。 ・良質なアート作品、アーティストを誘致するために本イベントのためのキュレータを配置する。	【効果】 ・オリンピック及びパラリンピック開催期間中の実施を想定(公園オープン予定日7月11日～9月6日)。 ・文化プログラム及び豊島区アートカルチャー都市構想の推進に寄与。 ・アートカルチャーハブとして、公共空間の新たな利活用策の先駆けとなることが期待される。	5,000,000	C	事業内容・事業費要検討 オリパラとの関連性
34	公園緑地課	IKE・SUNPARKにおける屋外映画上映会事業	スポーツやアートなどを題材に扱った映画の上映会を実施する。	【効果】 ・西口公園で実施予定のパブリックビューイング(大会期間中14:00～21:00を予定)と連動し映画の上映会を行う。(南池袋公園、中池袋公園との連動も可能) ・19:30頃からの開催とすることで、西口公園からIKEBUSを活用した集客を想定。IKEBUSの認知度向上に寄与する。	3,000,000	C	事業内容・事業費要検討 オリパラとの関連性
35	公園緑地課	IKE・SUNPARKにおける世界の食文化を体感する食事会の開催	オリンピックに参加する各国の食文化の紹介を目的に、世界の食事を多様な人々で一同に囲い国際交流を促す食事会を開催する。	【効果】 ・外国人居住者が多い特徴を持つ豊島区において、東京2020を契機として世界中から訪れる来訪者や区民の交流促進、食文化の紹介・体験を目的とする文化プログラム。 ・開催時間をモーニングの時間帯やアフターザンターを意識した夜間で検討すること、豊かな芝生広場で大勢で食卓を囲むこれまでにない景色を実現することで、オープンして間もないIKE・SUNPARKのこれからの可能性、魅力的な姿を区民に発信する。	3,000,000	C	事業内容・事業費要検討 オリパラとの関連性
36	公園緑地課	IKE・SUNPARKにおけるスポーツの気運醸成事業	豊島区最大の規模を誇るIKE・SUNPARKの敷地を活用し、東京2020で実施される競技に係らず、広くスポーツの振興を目的とするイベントプログラムを実施する。	【効果】 ・かけっこ教室、パークヨガ、ノルディックウォーキング、ランニング等の公園敷地や周辺エリアをフィールドとするスポーツプログラムによる気運の醸成。 ・オリンピック及びパラリンピック開催期間中の実施を想定(公園オープン予定日7月11日～9月6日)。 【実績】 ・IKE・SUNPARK指定管理者が他自治体で指定管理者として運営を行っている公園にて、類似するOUTDOOR FITNESSプログラムを通年で展開しており、この経験をふまえ事業を展開予定。	4,000,000	C	事業内容・事業費要検討 オリパラとの関連性

都市整備部

事業番号	課	提案事業名	アイデアの内容	セールスポイント・期待される効果	想定予算額	一次選定事業の熟度	備考
37	公園緑地課	IKE・SUNPARKにおける防災×スポーツ事業	発災時に役立つ知識を、サッカーイベントを通じて楽しみながら身に着けるプログラムを実施する。	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災公園としての機能と、東京2020にちなんだスポーツの促進事業として実施。 ・単純な防災訓練ではなく、サッカーの要素を組み合わせることで楽しみながら役立つ知識・能力を身につけることが可能。 <p>http://colojapan.asia/defense-action</p> <p>http://hitotowa.jp/tag/disaster-management-soccer/</p>	2,000,000	C	事業内容・事業費要検討 オリパラとの関連性
38	公園緑地課	IKE・SUNPARKにおける花みどりをテーマとするアートプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・公園をパブリックギャラリーに見立て、花みどりをを用いたアート作品の制作・展示を行う。 ・花みどりをを用いたワークショップ、講習会等のイベントを行う。 	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック及びパラリンピック開催期間中の実施を想定（公園オープン予定日7月11日～9月6日）。 ・文化プログラム及び豊島区アートカルチャー都市構想の推進に寄与。 ・アートカルチャーハブとして、公共空間の新たな利活用策の先駆けとなることが期待される。 	4,000,000	C	事業内容・事業費要検討 オリパラとの関連性

部内合計額 ￥30,000,000-

〈既存事業にて実施 13事業〉

事業番号	課	提案事業名	アイデアの内容	セールスポイント・期待される効果	備考
1	企画課 (「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室)	としまscope(HP、Facebook)での告知。	全庁的な取り組みやイベントをとしまscopeのHPおよびFacebookにて告知・周知を行う。	・オリ・パラの機運醸成	
2	地域区民ひろば課	区民ひろばでオリンピック・パラリンピックの開催をお祝いしよう!	大会開催期間中、全22地区の区民ひろばにおいてオリンピック・パラリンピックをテーマにした事業を地域の方と一緒に企画し実施する。 (例)区民ひろば清和:手作りの応援グッズを制作し、ライブビューイングで大会を応援する。 ※ミュンヘンオリンピック金メダリスト(バレーボール)西本 哲雄 氏(池袋本町在住)の講演の実施を検討中。	地域の拠点である区民ひろばが主導し、保育園や小中学校等を巻き込んで事業を実施することで、未来を担う次世代にレガシーを伝えるきっかけとする。また、区民ひろば事業に多くの方が参加することで、地域で東京大会を盛り上げることが期待できる。	
3	地域区民ひろば課	「豊島区聖火リレー採火式・ビジット」パラリンピックのオープニングをお祝いしよう! In区民ひろば	8月21日開催の「聖火ビジット」にあわせ、全22地区の区民ひろばにおいて、パラリンピックのオープニング記念企画を実施する。 (例)区民ひろば駒込:地域団体の協力を得て、リレー形式で聖火を区民ひろばまで運ぶ。その際、手作りの応援グッズや花道を作り、聖火を歓迎する。	オリンピックの成功という喜びを地域で共有し、また、次に続くパラリンピックの聖火を身近に感じてもらうことで、パラリンピックへのモチベーションを地域全体で高めていく効果が期待できる。	
4	生活産業課	ボルダリングキャンペーン	オリンピックの競技種目でもあるボルダリングをイケビズの体育室で実際に体験してもらう。参加者にはイケビズ特製のキーホルダーをプレゼント予定。(体育室の閉館が解除されることが条件)	ボルダリングキャンペーンを実施することで、オリンピックに向けて気運醸成を図るとともに、イケビズのボルダリング施設を区民の方に知ってもらう機会となることが期待される。	
5	学習・スポーツ課	としまコミュニティ大学、地域文化創造館文化カレッジでの講座展開	オリンピック・パラリンピックに関する内容を講座に盛り込み、講座受講者に大会を身近に感じてもらう機会とする。	オリンピック・パラリンピックに向けての気運醸成を図るとともに、受講者が大会に関する興味を持ち、ボランティア参加などのきっかけとなることが期待される。	
6	子ども若者課	地区青少年育成委員会行事での展開	各地区で実施する行事にオリンピック・パラリンピックに関する内容を盛り込み、行事に参加する子どもや親子に大会を身近に感じてもらう機会とする。	オリンピック・パラリンピックに向けての気運醸成を図るとともに、参加者及び地区委員が大会に関する興味を持ち、ボランティア参加などのきっかけとなることが期待される。	
7	子ども若者課	ジャンプ・パブリックビューイング	ホールにスクリーンを設置し、プロジェクターを通してテレビ画面を上映して、みんなで応援する。メダル予想も実施。	オリンピック・パラリンピックへの関心を高めるとともに、利用者の一体感を醸成する。(応援グッズ5,000円)	放映について子ども若者課より組織委員会へ申請

〈既存事業にて実施 13事業〉

事業番号	課	提案事業名	アイデアの内容	セールスポイント・期待される効果	備考
8	都市計画課	(仮称)JAPANとしまマルシェの開催	多くの訪日外国人の来街が見込まれることから以下のコンテンツを展開 ①和食の提供 ②これだけは知っておきたい日本語・マナー ③多言語エリアマップの配布 (ノベルティグッズの配布) ※提案事業4と連動	①日本(としま)文化の発信 ②訪日外国人のマナー向上 ③回遊の促進	
9	放課後対策課	子どもスキップ・学童クラブでのスポーツ事業推進	オリパラ競技中、陸上、バドミントン、バスケットボール、サッカー、ホッケー、卓球、テニス、バレーボール、野球等の各競技は、子どもスキップの日常遊びの中で身近に行われており、その中でプロ指導者を招聘したり、道具の充実等を図ることで、東京2020大会の気運醸成に大きな効果を出せる。	年間のべ53万6千人弱の小学生が利用する子どもスキップ・学童クラブにおいて既に展開されている各オリパラ競技の各内容を充実させることは、東京2020大会の気運醸成に大変効果的である。	
10	放課後対策課	放課後子ども教室事業の充実	オリパラ競技中、陸上、バドミントン、バスケットボール、サッカー、体操、ホッケー、卓球、テニス、バレーボール、野球、ポッチャの各競技について、プロ指導者を招聘したり、道具の充実等を図ることで、既に展開中の各教室が一層充実し、東京2020大会の気運醸成に大きな効果を出せる。	年間のべ3万5千人弱の小学生が参加している放課後子ども教室において既に展開されている各オリパラ競技の各内容を充実させることは、東京2020大会の気運醸成に大変効果的である。	
11	指導課	オリンピック・パラリンピック競技観戦事業	実際に、オリンピック・パラリンピックを観戦する。	オリンピック・パラリンピックの観戦で実際の雰囲気や熱気を味わい、子供たち一人ひとりの中にレガシーを残る。	
12	指導課	オリンピック・パラリンピック学習	オリンピック・パラリンピックを機会に、オリンピック・パラリンピックについて知り、観戦に期待をもつ。	「ボランティアマインド」「障害者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」の5つの資質を育むとともに、共生・共助社会の実現を目指す。	
13	指導課	学校2020レガシー事業	9月に東京2020大会が閉幕するが、その後も、これまでの学習や経験を生かした学習を続ける。	各学校が、共生社会の実現等に向けて、家庭や地域等と連携を図りながら、東京2020大会以降も長く続けていくことができる。	